

事業目的

本協会の目的は定款に明示されている通り、国民運動として国際連合（以下略して国連）の目的実現に協力し、国民の間に世界連帯の精神を育成し、国民の理想を表明し、もって世界平和の維持、確立に寄与することでありそのため下記事業を実施した。

事業実績

■公益目的事業 1 国際連合公用語英語検定試験

(1) 国連英検

本協会は民間の立場から、国民の間に国連に対する理解と協力を増進し、世界の平和と人類の福祉向上に役に立つ国際人の育成を目的に、1981 年以来実施。

実施会場

<本会場> 札幌 仙台 長野 さいたま 千葉 東京 立川/国分寺 横浜 静岡 名古屋
金沢 神戸 京都 大阪 岡山 広島 福岡 鹿児島 那覇 (19 箇所)
<特別会場> 29 箇所

実施日 第 1 回 1 次試験 5 月 28 日 2 次試験 7 月 9 日 (申込期間 3/1~ 5/7)
第 2 回 1 次試験 10 月 29 日 2 次試験 12 月 10 日 (申込期間 8/1~ 9/30)

(2) 国連英検ジュニアテスト

英語を学び理解するためには幼少期より継続的に学習することが必要であることから

■公益目的事業 2 出版事業

一般の方々へ国連の思想を普及するための出版物等の発行事業。

(1) 国連ジャーナル

国連の思想の普及と国際情報を提供するとともに、今後日本が進む新しい外交政策などの情報や、国際事業を紹介する事を目的に 2003 年より年 2 回発行。

タイトル	国連ジャーナル 2017 年秋号
発行日	9 月 25 日
発行部数	2,500 部
販売価格	1,000 円
主な記事	国際情勢を見つめて (千玄室) / グテーレス国連事務総長の展望 (根本かおる) / いま一つの視座 (小此木政夫) 他

タイトル	国連ジャーナル 2018 年春号
発行日	3 月 15 日
発行部数	2,500 部
販売価格	1,000 円
主な記事	気候変動問題と外交政策上の課題 (石垣友明) / 日本の核兵器廃絶決議 (今西靖)

治) / 日中韓会長会議とユース・フォーラム (長谷川祐弘) / OECD と国連の協力強化で広がる好機 (安部憲明) 他

(2) 世界児童画カレンダー

選考 カナガワビエンナーレ世界児童画展
作成部数 1,700 部
定価 1,080 円

■公益目的事業 3 国連思想普及事業

(1) 第 57 回国際理解・国際協力のための全国中学生作文コンテスト

作文応募を通して平和、安全、人権、環境などに関して、国際理解・国際協力の必要性を強調することを趣旨として、1961 年より開催。

応募総数 1,736 編 (28 都道府県)

テーマ ① 世界の平和と安全のために、日本が国連ですべきこと。
② 持続可能な開発のために、わたしができること。
③ 世界の平和のために、異なる文化への理解が果たせる役割。

審査 10 月 13 日 国連協会事務所にて

審査員 外務省、文部科学省、日本ユネスコ協会、当協会事務局長、審査員全 4 名

受賞 特賞 4 編、優秀賞 3 編、金賞他 11 編

受賞者 特賞 外務大臣賞 北海道 荻野 真緒
文部科学大臣賞 福岡県 赤松 菜々子
日本ユネスコ協会連盟会長賞 広島県 保田 喜央
日本国連協会会長賞 愛知県 伊藤 優花

副賞 特賞 4 名 ニューヨークの国連本部訪問 (2018 年 3 月)
(実施団体 日通旅行株式会社)

(2) 第 64 回国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール

作文コンテストと同趣旨で開催

応募総数 341 名

本選参加人数 28 名 (27 都道府県)

テーマ ① 今日の世界において多国間主義はなぜ重要か。また国連の役割。
② 持続可能な開発のために、日本において取り組むべきこと。
③ より人権が守られる世界の実現のために、国連は何をすべきか。

本選日 10 月 23 日

場所 国連大学エリザベス・ローズルーム国際会議場

審査員 7 名

外務省、法務省、全国人権擁護委員連合会、文部科学省
安達峰一郎記念財団、日本ユネスコ協会、当協会理事

受賞者 特賞	外務大臣賞	宮城県	西野 麗華
	法務大臣賞	長崎県	太田 玲亜
	文部科学大臣賞	静岡県	根上 葵
	日本国連協会会長賞	愛媛県	松友 杏樹
	その他優秀賞 6名		
副賞	特賞 4名 ニューヨークの国連本部訪問 (2018年3月) (実施団体 日通旅行株式会社)		

(3) つどいの夕べ

開催日時	8月26日 午後2時から
開催場所	ホテルオークラ東京
開会挨拶・講演	当協会会長 千 玄室
特別講演	元幹部学校長 海将 福本 出
各賞表彰	・立食会食・ラッフル
出席者	400名

(4) 第8回「日中韓ユース・フォーラム」

国内の国連及び国際問題への関心が高まるなか、アジアの代表とも言える日中韓三カ国のユースを集めて模擬国連・国際会議及びシンポジウムを開催することは意義あることだ。また、ユースが国際問題について真剣に考える姿勢や取り組みを外部に向け発信するという目的を併せ持つ学術交流を実施した。

日 時	2017年8月26日～30日
主催	中国国際連合協会
協力	日本国際連合協会、韓国国際連合協会
開催場所	中国 北京
参加者	日本人学生 20名 中国人学生 40名 韓国人学生 20名

(5) シンポジウム・パネルディスカッション

- ・裏千家主催 第12回 東アジア茶文化シンポジウム
9月22日(金) 中国・北京
- ・裏千家・国連協会主催 第12回 パネルディスカッション (東アジアの文化と平和)
9月21日(木) 中国・北京

(6) 第29回模擬国連会議全日本大会

開催期間	12月26日～29日
開催場所	浅草ビューホテル
参加人数	300名

(7) 国連協会海外研修

小・中・高・大学生のための英語研修とホームステイを1998年より実施

ド	旅行企画・実施	日通旅行株式会社		
	渡 航 先	イギリス・カナダ・アメリカ・オーストラリア・グアム・ニュージーランド		
	参加者数	春 263 名 ・ 夏 256 名	合計 519 名	(2017 年度)

■協賛会員数

2017 年末現在 法人会員 39 団体 個人会員 177 名